

公民館からのお知らせ

問い合わせ：教育推進課 ☎54-3637

☆飛鳥史学文学講座

【日時】

10月12日(日) 13時～15時

【場所】

中央公民館 1階 ホール
(〒634-0141 明日香村大字川原91-1)

【講師】

関西大学文学部教授 長谷 洋一

【内容】

大和の神像・仏像

～これまでの調査を振り返って～

※村内在住の方、関西大学学生、本講座に興味のある中高生は受講料無料です。

村民の皆さまのご受講を、心からお待ちしています。

【問い合わせ】

関西大学教育後援会

☎06-6368-0055

公民館クラブと村民の皆さまの短歌

☆短歌

・七日盆過ぎて暦は立秋に
頬撫ぜる風秋を感じる

辰巳 陽子

・青田にも青田風吹くさらさらと
早苗ものびて波のごとし

山本 能世

・冷房も下肢の冷えには注意して
頭寒足熱元氣保ちぬ

森本 博文

・推古帝の都の有りし飛鳥にも
地震の痕跡数多あるらし

西村 道子

・蛛の巣よ縦糸横糸めぐらせて
獲物かまへて梅雨空に待つ

森田 幸子

・北海道涼しきはずに令和七
暑さにおどろきクウラー設置成す

吉田 清子

・夕立はからりと晴れてちぎれ雲
茜の色もきららに浮かぶ

奥 まさみ

・ふわふわと羽黒蜻蛉は庭石へ
「お盆はまだよ」父母想う

脇田 智子

・六歳の少国民の記憶なお
電車に敵機襲来せし日

脇本 雅子

・巴旦杏を育てる方の心いろ
初めは淡くやがて真紅に

勝川 京子

・声もなく並んで上を向いている
ひまわりの花ぬける青空

井本 智子

・百日紅見上げてみれば愛嬌ある
蜂や蝶蝶のパラダイスなり

松本 義夫

・連山にひときわ目立つ額井岳
大和に誇れるああ大和富士

森本 武志

・蔓のばしつづ道阻む葛の葉を
踏みこえて行く朝の学生

森本 千鶴子

・山歩きクマよけ鈴の音響く
クマも欲しいか人よけ鈴を

尾関 常子

・白南風に笹の葉ゆらり短冊の
願いよ届けアルタイルへと

豊田 絹代

・夏越きて茅の輪をくぐり神妙に
信じぬわたし七十三歳

上中 幾代

・古古米や古古古古米の備蓄米
去年のお米は今どこにある？

藤川 幹代

・京の夏山鉾建てに出くわすや
縄の魔法にみな凝視する

田中 祥子

・家の電線に止まってこちら見る
去年見送ったツバメたちかも

山本 修

・それぞれの鳴きかたありて夏風が
はこぶ小鳥の華やぐ時間

友田 昌子

・天の川静寂のなかを流れゐて
賢治は詠みぬ「星めぐりの歌」

米田 郁夫

・学帽の写真にまみゆ わが知らぬ
学徒出陣の戦死の叔父よ

米田 靖子

